

足立区立亀田小学校
学校長 大井 欣一 様

足立区立亀田小学校
開かれた学校づくり協議会

令和5年度 学校関係者評価

1 自己評価全般について

【学力の確実な向上】

- 4月に実施した区学力調査の結果について、国語の目標値通過率が95.4%（1.9%増）、算数の目標値通過率が95.2%（1.3%増）との報告があり、この数年間の取組の成果が数値として表れていることが素晴らしい。校長のリーダーシップが発揮され、教職員が一丸となって、児童の学力向上を図るための取組（授業改善、パワーアップタイム、ステップ学習、放課後補充学習等）が、日常的に行われていることが分かる。
- AIドリルの効果的活用が学習の個別最適化につながっている。AIドリルだけでなく、教員がGoogleスライドやジャムボードなどのICT機器を活用した授業を積極的に行っており、それが児童の意欲や思考力、表現力の向上につながっている。

【豊かな心の育成】

- 「自分を好き」という子が81%（2%増）と昨年度より増え、校長が掲げた目標達成基準の80%を達成した。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限から解放され、クラブ活動や課外活動、地域と連携した学習などを実施することができた。その中で、児童の自己肯定感や自尊感情が高まってきていることを好ましく思う。
- 目標の80%は達成したものの、「自分が好き」という項目に関しては、「学校は楽しい」（91%）「よいところ、得意なことがある」（96%）と比較すると、まだ低い水準にあると言える。児童の自己肯定感や自尊感情をさらに向上させることができるよう、工夫を続けてほしい。

【体力の向上】

- 体力・運動能力調査では、85/96種目が区の平均を超えていた。全国と比較すると75/96種目が平均以上となっている。これは、昨年度と比較しても伸びており、体育科の授業改善はもちろん、夏季水泳指導、持久走旬間、なわ跳び旬間といった取組の成果であると言える。握力と投力に課題が残るとのことなので、それを伸ばす取組を工夫して行ってほしい。
- 運動会やなわ跳び発表会を参観して、児童が楽しく運動に取り組んでいる様子が見られて嬉しく思っている。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 今年度は協議会主催の土曜事業が実施できなかったため、来年度は早い段階から企画、準備を進めていく。
- 学校の隣に区の複合施設が建設されるので、児童の意見も取り入れてもらえるよう働きかけていく。

3 学校の様子について

【学校教育の取組や学校施設について】

- 校長、教職員が児童の学校生活を充実させるため毎日努力した結果が表れている。
- 重点事項の学力向上、心の育成、健康な体づくりについて、高い目標を掲げ、それを着実に実現させている。取組が的確であることが分かる。
- 外国語科の教室を設置して、子供たちの英語を学ぶ意欲をより引き出すなど、積極的な教育が行われている。
- 学力だけでなく、様々な側面から子供たちを伸ばす取組をしていて、ありがたい。
- 数年にわたる学力向上、定着率アップ、生活指導等、教員が一丸となり取り組んでいる姿勢が伺え、喜

ばしく思う。

- 基礎的、基本的な学力の定着に向けては、授業以外の様々なプランにも熱心に取り組み、区学力調査でも素晴らしい成果をあげていると思う。
- 校内の雰囲気も、掲示物などを見ても、一人一人の個性を大切にしつつ、調和がとれている様子が感じられる。校長の発言にはメッセージ性があり、子供たちもよく理解できていると感じる。
- 目標通過率を見ても、定着が確実にできていると言える。
- なわ跳びや持久走旬間を参観でき、楽しく頑張る様子が見られるのが素晴らしいと思った。

【教員の授業について】

- どの学級も児童が集中できるよう工夫して授業が進められていた。
- 児童一人一人に語りかけるような接し方をしている。粘り強く、丁寧な授業がされている。
- 教員の経験談などを盛り込むなど、児童がより理解を深めるような工夫がされている。
- 楽しい授業が多いようで、子供が毎日楽しく通っているが、授業公開で見学した算数の授業は子供たちにとって簡単すぎたようで、だれている様子が見られた。
- 教員、子供たち共に落ち着いていて、集中できている。子供にも分かるようにいろいろと工夫されていて、楽しく学んでいる様子が見られる。
- 実際に授業を見る機会が無かったのでこの評価は難しいが、アンケートで「学校は楽しい」と答えた児童が91%と多いことから、授業も楽しいと感じていると考えられる。
- 一クラスの人数が多い学級もある中、同じ課題に取り組ませることに時限もあり、苦勞も多いと思うが、ICTを取り入れた授業には子供たちも関心が高く、日々の取組が将来につながると感謝している。
- 自主学習のノートに、スタンプを押すだけではなくコメントを書いてもらっていて、モチベーションアップにつながっていると思う。
- 話し方、導く言葉により、子供たちの参加の度合いに違いを感じる。

【子供たちの様子について】

- 登下校の際、必ず元気に挨拶している。
- 授業中、落ち着いていて、教員の質問をよく理解している。積極的に手をあげて、自分の思っていることを発言している。
- 授業をとっても楽しんでいる。
- 休み時間、楽しそうに過ごしている子供たちを見て、安心して通わせられる学校だと思った。
- 休み時間は元気に外で遊び、教室や廊下では静かにしている様子が素晴らしい。声をかけるとしっかりと応えてくれるのも嬉しい。
- 規則正しい生活習慣の定着率が88%となっており、このことが学校生活の安定にも影響していると思われる。
- 保護者とすれ違うとき、高学年を中心に、しっかり顔を見て挨拶を返してくれることが多く、とても気持ちが良い。学力や自己肯定感の向上が、子供たちの様子からも自信となって表れているように感じている。
- 来校者にちゃんと挨拶をしていて、人懐っこい児童が多いと感じる。いつも元気で楽しそうである。

【その他】

- 運動会が、競技内容等工夫されていて楽しく見学できた。
- 児童数も教員数も多く、学力、体力が年々向上している亀田小学校は、この地域の自慢である。教員がそうであるように、児童も快活である。
- 避難訓練が多いように思っていたが、被災したときに子供が落ち着いて行動していたのを知り、日頃の学校での訓練が生かされたのだなと思った。
- 一人一人の子供の得意なことや優しさ等は、教員が子供と常に接していなければ分からないことが多い。褒めたり、気付かせたりすることはとても大事。忙しくて大変だと思うが、教員の頑張りを応援している。令和5年度の行事(運動会・音楽会)もとても工夫されていて素晴らしかった。保護者の学年カラーシールもよかった。
- 様々な家庭環境の児童がいて、その対応に尽力している学校に敬意を表す。
- 校内で学級閉鎖があったとき、各クラスでアルコール消毒を再開したと聞いた。時勢に合わせた環境の整備に感謝するとともに、子供たちの柔軟に対応する姿勢には「自立」と「自分で考える力」が備わっていることを感じ、亀田の子供たちを頼もしく思う。